あきる野市教育委員会 2 月定例会会議録

- 1 開催日 平成26年2月21日(金)
- 2 開催時刻 午後2時00分
- 3 終了時刻 午後4時45分
- 4 場所 あきる野市役所 5階 505会議室
- 5 日程
日程第 1	議案第 3号	あきる野市スポーツ推進審議会条例
日程第 2	議案第 4号	あきる野市教育委員会事務局処務規則
及びあきる野市特別支援教育就学相談委員会規則の一部を改正する規則
日程第 3	議案第 5号	秋川流域市町村視聴覚教育協議会の廃止について
日程第 4	議案第 6号	あきる野市立学校職員出勤簿整理規程の一部改正について
日程第 5	議案第 7号	あきる野市文化財の指定に関わる諮問について
日程第 6	議案第 8号	平成25年度あきる野市教育委員会所管予算(第7号補正)について
日程第 7	議案第 9号	平成26年度あきる野市教育委員会所管予算について
日程第 8	報告事項(1)	あきる野市立中学校部活動外部指導補助員に関する要綱の一部改正について
日程第 9	報告事項(2)	ふれあい月間(11月)の調査結果について
日程第 10	教育委員報告	
- 6 出席委員
委員長	山城 清 邦
委員長職務代理者	田野倉 美 保
委員	丹 治 充
委員	宮 田 正 彦

7 欠席委員 教 育 長 宮 林 徹

8 事務局出席者 教 育 部 長 鈴 木 恵 子
指 導 担 当 部 長 新 村 紀 昭
生 涯 学 習 担 当 部 長 山 田 雄 三
教 育 総 務 課 長 小 林 賢 司
教 育 施 設 担 当 課 長 丸 山 誠 司
指 導 担 当 課 長 千 葉 貴 樹
学 校 給 食 課 長 木 下 義 彦
生 涯 学 習 ス ポ ー ツ 課 長 関 谷 学
ス ポ ー ツ ・ 公 民 館 担 当 課 長 岡 野 要 一
国 体 推 進 室 長 橋 本 恵 司
図 書 館 長 松 島 満
指 導 主 事 梶 井 ひとみ
指 導 主 事 加 藤 治 紀

9 事務局欠席者 なし

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

委員長（山城清邦君）

皆さんこんにちは。ただいまから教育委員会 2 月の定例会を開始いたします。

本日は教育長が欠席しておりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

本日は傍聴のご希望がありますので、許可いたします。

それでは、議事日程に従いまして会議を進めてまいりたいと思います。

まず、議事録署名委員の指名については田野倉委員と宮田委員を指名いたします。

それでは、議事に入ります。

日程第 1 議案第 3 号あきる野市スポーツ推進審議会条例を上程します。

提出者は説明をお願いいたします。

山田生涯学習担当部長。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

提案理由でございます。あきる野市スポーツ推進計画等の推進に関する重要事項を調査審議するに当たり、スポーツ基本法の規定に基づき、あきる野市スポーツ推進審議会を設置するため、必要な事項を定める必要があるため、あきる野市スポーツ推進審議会条例の制定について、平成 26 年第 1 回あきる野市議会に上程するため、委員会の承認を求めらるものでございます。

それでは、具体的に条文の説明をさせていただく前に、その前提部分についてお話しさせていただきます。

まず、昨年 8 月にあきる野市スポーツ推進計画を策定いたしました。この推進計画におきましては、みんなでつくろうスポーツ都市あきる野、誰もが元気でスポーツに親しむ健康なまちを目指してを基本理念として掲げております。そして、その実現に向けて行政はもとより、スポーツ推進委員や体育協会をはじめ多くの関連団体や地域住民が連携、協働しながら取り組んでいく必要があるとしております。

また、スポーツ基本法の第 31 条の規定に基づきまして、市民の代表者やさまざまな分野の専門家で構成するスポーツ推進審議会を設置し、本計画に関係する事業を効率的、効果的に推進し、本計画の実効性を高める推進体制を整える必要があります。このため本件条例の設置についてご審議いただくということで上程させていただいたところでございます。

それでは、逐条的にご説明をさせていただきます。議案をご覧ください。

まず、第 1 条、設置目的でございます。スポーツ基本法第 31 条では、都道府県及び市町村に地方スポーツ推進計画等のスポーツの推進に関する重要事項を審議させるため条例設置による審議会等を置くことができるという規定でございます。本審議会はこの規定を根拠といたしまして、条例設置をするものでございます。

第 2 条、所掌事項でございます。この第 2 条は、教育委員会の諮問に応じて調査、審議をして、答申をする所掌事項が 1 号から 6 号まで列挙されております。具体的には、1 号スポーツ推進計画に関する事、2 号スポーツの施設及び設備の整備に関する事等々の

6項目が列記されております。

なお、国で策定されたスポーツ基本法第35条は、あきる野市が社会教育関係団体であるスポーツ団体に対する補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ本審議会の意見を聞かなければならないという規定が、この35条の内容となっているものでございます。

続きまして、第3条の委員の構成でございます。1項で、委員は10人以内をもって組織する。2項、第1号、見識を有する者2名以内、2号、市民の代表2人以内、この市民代表というのは公募で募集をさせていただく予定でございます。3号で社会教育関係者5人以内、4号で学校教育関係者1人ということで、この10人以内で構成するというところでございます。

続きまして、第4条、委員の任期でございます。2年間でございます。

第5条、会長及び副会長についてでございます。それぞれ委員の互選によって定めるということでございます。

裏面になります。第6条は会議、第7条は庶務、第8条は委任についてはご覧いただきたいと思っております。

続きまして、附則でございます。施行日につきましては、平成26年4月1日でございます。

第2項では、本条例の委員は、あきる野市非常勤の特別職の身分となりますので、ご覧のとおり特別職の報酬等に関する条例中別表に、スポーツ推進審議会委員を加えるため条例の一部改正を行うということを附則で規定をさせていただいております。

説明につきましては以上でございます。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

委員長（山城清邦君）

説明が終わりました。

何かご質問ありましたらどうぞ。

私の方からよろしいですか。第3条の第2項の第3号、これ社会体育関係者で表記に間違いはないのでしょうか。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

間違いございません。

委員長（山城清邦君）

わかりました。

ほかにご質問ありますか。

田野倉委員。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

理解不足もあるかと思うんですが、このスポーツ推進審議委員という職を新たに設けるということでよろしいんですね。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

はい。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

現在いるスポーツ推進委員、18名の社会体育指導委員の方とはまた別の職になるんで

しょうか。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

別なものになります。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

名称が似ていますが、兼務になる委員の方もいらっしゃるのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

岡野課長。

スポーツ・公民館担当課長（岡野要一君）

社会体育関係者で5人以内のうち、スポーツ推進委員さんも1人入る予定です。そのほかには体育協会、健康づくり推進委員、総合型スポーツクラブアスポート、五日市クラブからそれぞれ1人ずつというような予定をしております。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

わかりました。ありがとうございます。

委員長（山城清邦君）

丹治委員。

委員（丹治 充君）

このスポーツ推進審議会は重要事項について調査、審議をするということですが、会議は定例会方式なのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

岡野課長。

スポーツ・公民館担当課長（岡野要一君）

定例会方式ではなく、年に2回の開催を予定しております。

委員長（山城清邦君）

よろしいですか。

委員（丹治 充君）

はい、結構です。

委員長（山城清邦君）

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

提案理由にもありましたが、計画等の推進に関する重要事項を調査、審議するに当たりこの委員会を設けるということですが、この委員会で審議された内容、結果が行政に反映されるわけですね。それはどういう場面でされるのですか。

委員長（山城清邦君）

岡野課長。

スポーツ・公民館担当課長（岡野要一君）

重要事項としては、社会体育の関係団体の補助金の交付、社会教育関係団体の登録、予定しておりますのが生涯学習に関する市民アンケートの調査についての分析、検討をしまして、スポーツ推進計画の中で効率的、効果的な推進を図ると。昨年制定したスポーツ推進計画に効率的に推進されているかどうか反映をされていくかと思えます。

委員長（山城清邦君）

山田部長。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

補足をさせていただきます。審議会というのは、市の附属機関になります。基本的には審議事項について、審議会の意見を聞きたいというものを教育委員会から諮問をします。これについて審議会に調査、審議をしていただいて、教育委員会に答申を出していただくという流れがございます。第2条の所掌事項に1号から6号までの案件について調査、審議していただくこととなります。

先ほど課長が申し上げたように、スポーツ推進計画ができたばかりですので、これからの推進の状況等、その結果等を見て、推進の施策等について諮問を受けて、答申をしていただく形になっていくのだらうと思っております。

以上です。

委員長（山城清邦君）

宮田委員、よろしいですか。

ほかにご質問ありますでしょうか。

《なし》

委員長（山城清邦君）

それでは、質問等がないようですので、質疑を終了いたします。

日程第1 議案第3号あきる野市スポーツ推進審議会条例は、原案のとおり承認することに異議はございませんか。

《異議なし》

委員長（山城清邦君）

異議なしと認めます。

それでは、日程第1 議案第3号あきる野市スポーツ推進審議会条例は、原案のとおり承認されました。

続きまして、日程第2 議案第4号あきる野市教育委員会事務局処務規則及びあきる野市特別支援教育就学相談委員会規則の一部を改正する規則を上程いたします。

提出者は説明をお願いいたします。

鈴木部長。

教育部長（鈴木恵子君）

議案第4号あきる野市教育委員会事務局処務規則及びあきる野市特別支援教育就学相談委員会規則の一部を改正する規則を提出いたします。

提案理由でございますが、組織改正及び事務分掌の見直しに伴いあきる野市教育委員会事務局処務規則の一部及びあきる野市特別支援教育就学相談委員会規則の一部を改正する必要が生じたので、委員会の承認を求めるものでございます。

次ページの新旧対照表をもって説明をさせていただきます。

はじめに、あきる野市教育委員会事務局処務規則の改正でございます。国体の終了に伴いまして、第2条の教育部国体推進室を削るものです。なお、決算等の残る事務につきましては、生涯学習スポーツ課スポーツ推進係が引き継ぐものといたします。

続いて、別表第3条関係、事務分掌の改正ですが、これまで事務分掌に明記されていない事務といたしまして、教育総務課で所管しています特別支援教育に関する事務と、指導室が所管しております情報機器の整備の事務がございます。今回それらの事務につきまして、事務分掌に明記するとともに、所管課の見直しを行うものです。

特別支援教育に関する事務につきましては指導室指導係が、情報機器の整備につきましては教育総務課学務係の事務分掌といたします。

改正内容につきましては表に基づきまして説明をいたします。

改正前の表中、教育総務課学務係、(3)の下線部、学級編制に関することにつきましては、通常学級と特別支援学級の学級編制に分けまして、改正後の表中学務係の(3)、通常学級の学級編制に関することといたします。

また、同じ表中、学務係の事務分掌に新たに(7)といたしまして、情報機器の整備に関することを加えます。

次に、改正後の表中、指導室指導係をご覧ください。(5)、特別支援教育に関すること、(6)、特別支援学級の学級編制に関すること、また次ページになりますが特別支援教育就学相談委員会及び入級相談委員会に関することを加えまして、明記をいたします。

また、前ページになりますが、改正前の表中、指導係の(6)、外国人英語指導助手に関することにつきましては、英語指導助手に限定をせず、改正後の表中(9)、教職員の指導の補助に関することに改めるものです。

また、教職員係につきましては、改正後の表中、(4)に教職員の研修に関することを新たに加え、明記するものです。

また、国体推進室につきましては、その事務分掌を削除いたします。

以上があきる野市教育委員会事務局処務規則の改正でございます。

次に、あきる野市特別支援教育就学相談委員会設置規則につきましては、特別支援教育の事務分掌を教育総務課から指導室に移行したことに伴いまして、事務局を改めるものがございます。

なお、この規則につきましては、平成26年4月1日から施行いたします。

よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

以上です。

委員長（山城清邦君）

説明ありがとうございました。

ご質問ありますでしょうか。

田野倉委員。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

明記されていなかったものを明記するようになったと。仕事の分掌的にはあまり変わりはないということなのでしょうか。

特別支援教育が教育総務課から指導室に担当が移ったのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

鈴木部長。

教育部長（鈴木恵子君）

教育総務課が事務を担当している特別支援教育を指導室に移行して、指導室で担当している情報機器の整備について教育総務課に移行して、担当を交換したという改正になります。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

そのほうが仕事がやりやすいということなんですか。

教育部長（鈴木恵子君）

特別支援教育につきましては、直接指導にかかわり、また指導主事とも深くかかわるものですので、指導室にあったほうが適切であると判断しました。

委員長（山城清邦君）

丹治委員。

委員（丹治 充君）

外国人英語指導助手を教職員の指導の補助にかえられましたが、外国人にかかわらず、他教科の指導補助は全て、教職員の指導の補助とされたのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

新村指導担当部長。

指導担当部長（新村紀昭君）

今回、教職員の指導の補助に関するということのを、新たに文章化して追加をいたしました。これまでも通常の学級で教員の補助という形で学習支援に入っている市の非常勤職員がおります。それと同様な形でAETの補助も入っておりますので、それを一つのくくりとして、(9)という形で文章化いたしました。

以上でございます。

委員長（山城清邦君）

田野倉委員。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

以前外国人指導助手のことをお聞きしたときに、学校側が直接その方に指導はできず、派遣元に指導を依頼するというようなお話を伺いました。それは以前と変更がないのでしょうか。指導係の方から指導助手に入ってらっしゃる方に指導などができるように変更されたのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

新村指導担当部長。

指導担当部長（新村紀昭君）

それについては、雇用関係の問題がありまして、民間の業者に委託をしている限りは、その委託元で指導するという約束事がございます。ただ、以前にも申し上げたとおり委託元の方も含めて、一緒に協議をして、指導改善を求めることは可能ですので、タイムリーにその場でということではできませんが、そういった形での指導はこれまでと同じようにしてまいります。

以上です。

委員長（山城清邦君）

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

別表の事務分掌の改正後の情報機器の整備というのは、具体的にはどんなことをされる
んでしょうか。

委員長（山城清邦君）

鈴木教育部長。

教育部長（鈴木恵子君）

教職員のパソコンや児童生徒が使うコンピューター機器等に関する事務になります。

委員（宮田正彦君）

わかりました。

委員長（山城清邦君）

事務分掌の中に明記されていなかったものを明記したということと、それから事務分掌
には明記してなかったけれども、実際には連絡を取り合って、例えば学務係と指導係で相
談しながらやっていたことをはっきり文章化したと。これによって何か大きく事務の流れ
が変わるということはないという解釈でよろしいのでしょうか。

教育部長（鈴木恵子君）

はい。

委員長（山城清邦君）

ほかにご質問なければよろしいでしょうか。

《なし》

委員長（山城清邦君）

それでは、議案第4号あきる野市教育委員会事務局処務規則及びあきる野市特別支援教
育就学相談委員会規則の一部を改正する規則については、原案のとおり承認することにご
異議ございませんか。

《異議なし》

委員長（山城清邦君）

異議なしと認めます。

日程第2 議案第4号あきる野市教育委員会事務局処務規則及びあきる野市特別支
援教育就学相談委員会規則の一部を改正する規則は、原案のとおり承認されました。

続きまして、日程第3 議案第5号秋川流域市町村視聴覚教育協議会の廃止についてを
上程いたします。

提出者は説明をお願いいたします。

新村指導担当部長。

指導担当部長（新村紀昭君）

それでは、提案理由でございます。秋川流域市町村視聴覚教育協議会を廃止するため、
地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の6の規定に基づき、平成26年第1
回あきる野市議会に上程するため、委員会の承認を求めるものでございます。

1、名称、秋川流域市町村視聴覚教育協議会、2、廃止日、平成26年9月1日という
ことでございます。

この件につきましては、昨年教育委員会12月定例会の報告事項の中で既にご報告を

させていただきましたが、これまで秋視協が果たしてきた役割、時代の流れとともに十分果たしたということで廃止をするということでございます。

また、廃止日を26年9月1日といたしましたのは、3月31日まででライブラリーを閉じて、その残務整理をする必要があり、9月1日の廃止としたものでございます。

以上です。

委員長（山城清邦君）

説明が終わりました。

ご質問ありましたらどうぞ。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

実際の廃止日の9月1日まで残務整理をするということですが、その際の財産分与の方法は秋川流域の市町村でこれから決めるのでしょうか。

指導担当部長（新村紀昭君）

財産分与につきましては、それぞれの市町村が分担金を出しておりましたので、その分担金の基準に基づきまして配当をいたします。

委員（丹治 充君）

分担金の割合に応じてということなのですね。

指導担当部長（新村紀昭君）

はい、割合に応じて行います。

委員長（山城清邦君）

よろしいでしょうか。

委員（丹治 充君）

はい、結構です。

委員長（山城清邦君）

ほかにご質問よろしいですか。

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

質問というか、希望なんですか、12月の定例会のときにも、貴重な資料、フィルムも残っているので、それを利用する方向でというお話も出ましたが、その辺は検討課題となるのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

山田生涯学習担当部長。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

今委員のご質問ですが、前回特に16ミリフィルムについては貴重なものもあって、財産分与の割合に従って分けた後、残ったものについてはあきる野市の中央図書館に保管をして対応していくというお話をさせていただきました。やはり貴重なものですので、秋視協と同様な形で市民の方の要望に応えるということを想定すると、図書館で管理し、臨機応変に対応をしてみたいと考えております。

以上です。

委員長（山城清邦君）

よろしいですか。

委員（宮田正彦君）

はい。

委員長（山城清邦君）

質問等ないようですので、質疑を終了いたします。日程第3 議案第5号秋川流域市町村視聴覚教育協議会の廃止については、原案のとおり承認することに異議はございませんか。

《異議なし》

委員長（山城清邦君）

異議なしと認めます。

それでは、日程第3 議案第5号秋川流域市町村視聴覚教育協議会の廃止については、原案のとおり承認されました。

続きまして、日程第4 議案第6号あきる野市立学校職員出勤簿整理規程の一部改正についてを上程いたします。

提出者は説明をお願いいたします。

新村指導担当部長。

指導担当部長（新村紀昭君）

それでは、提案理由からご説明させていただきます。東京都は、公衆衛生の改善、医療の進歩等により、結核性疾患を取り巻く状況の変化から、その疾患数の減少あるいは治癒までの期間短縮の現状を踏まえ、「職員の結核休養に関する条例(昭和29年東京都条例第11号)」を廃止いたしました。

このことに伴いまして、東京都教育委員会は、「東京都立学校職員出勤記録整理規程(昭和36年東京都教育委員会訓令甲第18号)」の一部改正をしたことから、あきる野市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する必要があるため、下記のとおり委員会の承認を求めるものでございます。

あきる野市教育委員会訓令。あきる野市立学校職員出勤簿整理規程(平成7年あきる野市教育委員会訓令第5号)の一部を次のように改正いたします。

別表(第38)項中「又は職員の結核休養に係る条例(昭和29年東京都条例第11号)の規定による休養」を削るというものでございます。

また、附則といたしまして、この規程は、訓令の日から施行いたします。

以上です。

委員長（山城清邦君）

説明が終わりました。

ご質問ありましたらどうぞ。

結核性の疾患によるお休みは通常の病気よりも長かったのでしょうか。

新村指導担当部長。

指導担当部長（新村紀昭君）

今までは教職員については教員公務員特例法の第14条、あるいは学校事務職員につい

ては公立学校の事務職員の休職の特例に関する法律に、教育公務員法特例法第14条の規定を準用するという記載があります。伝染性の疾患ですので、直ちに2年間の病気休職に入るようになっておりました。従前から、教員と学校事務職員については休職の取り扱いをするということになっておりました、その取り扱いに変更はございません。

ただ、各市町村には学校事務職員以外の東京都から給与を受けている職員がおります。本市では栄養士が該当するんですが、そういう方についてはこの規程を適用することになっておりましたので今回改正をいたします。

委員長（山城清邦君）

わかりました。

ほかにご質問ありましたらどうぞ。

《なし》

委員長（山城清邦君）

質問等ないようですので、質疑を終了いたします。

日程第4 議案第6号あきる野市立学校職員出勤簿整理規程の一部改正については、原案のとおり承認することに異議はございませんか。

《異議なし》

委員長（山城清邦君）

異議なしと認めます。

日程第4 議案第6号あきる野市立学校職員出勤簿整理規程の一部改正については、原案のとおり承認されました。

続きまして、日程第5 議案第7号あきる野市文化財の指定に関わる諮問についてを上程します。

提出者は説明をお願いいたします。

山田生涯学習担当部長。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

議案第7号あきる野市文化財の指定に関わる諮問について、議案を提出するものでございます。

提案理由でございます。珠陽院の巳待供養塔、五日市の市神様の2件については、調査の結果、極めて貴重な文化財であることが明らかになりました。このため、あきる野市文化財保護条例第39条の規定により、あきる野市文化財保護審議会に諮問したいので委員会の承認を求めるものでございます。

恐れ入りますが、1枚ページをおめくりください。別紙1、珠陽院の巳待供養塔につきましては、江戸時代中期の1727年に地域の人々の信仰によってつくられたことが刻まれた文字から知ることのできる石像物でございます。市内には大変多くの石像物が確認されておりますが、巳待供養塔は市内で現在2例のみでございます。珠陽院のものはご覧のとおり彫刻も見事で、保存状態もよく、地域の人々の信仰を伝える文化財として大変貴重なものと考えられるものでございます。

それでは、もう1枚ページおめくりください。別紙2、五日市の市神様につきましては、かつて五日市の市の繁栄を願って祭られたものと考えられるものです。自然の石をそのま

ま使用し、銘文などが無いために祭られた年代等は不明ですが、古文書に江戸時代前期の承応2年、1653年に五日市村に新市、新しい市を立て、市祭りを行ったことが記されていることから、このときには既にこの石が祭られていたものと考えられるものです。五日市の市の繁栄を祈った地域の人々の信仰を伝える文化財として大変貴重なものと考えられるものでございます。

説明は以上でございます。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

委員長（山城清邦君）

説明が終わりました。

ご質問ありましたらどうぞ。

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

2件のうちの1件目、巳待供養塔はお寺の境内にありますが、2件目の自然石でできた市神様は不特定多数が入る道の際に存在するので、何らかの保護対策をとられる予定はあるのでしょうか。保護をすることによってかえって盗難の被害にあることも考えられますが、仏像などが外国へ持ち出されている現状を考えると、どうなのかなと思ったものから。

委員長（山城清邦君）

関谷生涯学習スポーツ課長。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

市神様につきましては、お話いただいたとおり五日市広場の敷地の中とはいえ、歩道のすぐ横に祭られております。ただ、大きさが1メートル以上、重さも1トン以上と推測されますので小さなお地藏さんとは違って、簡単には持ち去れないものだと考えております。もし移動するとなると、重機が必要になるかと思えます。写真にあるように注連縄がございいますが、地域の商店街の方々が今もこうやって祭っておられますし、防犯上は大丈夫なのかなと考えております。

委員長（山城清邦君）

市神様は、地面の上に置いてあるだけなんですか。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

はい、そうです。

委員長（山城清邦君）

済みません、私から質問よろしいでしょうか。巳待供養塔の大きさはどのくらいなんですか。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

高さが60センチほどになります。

委員長（山城清邦君）

ありがとうございます。

説明が終わりました。

ほかにご質問ありましたらどうぞ。

田野倉委員。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

今回の文化財も含めてなんですが、あきる野市内には、あちこちにいろいろな文化財があると思いますが、それらを紹介するガイドマップなどは作成されているのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

関谷生涯学習スポーツ課長。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

過去に書籍の中で文化財の位置を表記してあるものを発行したものがございます。ただ、逐次指定のものがふえていきますので、新しい情報として、市民に提供できるものができればいいなと感じております。

委員長（山城清邦君）

丹治委員。

委員（丹治 充君）

文化財に指定された後、例えば風化していくような場合も当然あるかと思います。文化財に指定された後、例えば市から保存するための予算だとか、そういうようなものはあるのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

関谷生涯学習スポーツ課長。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

文化財の維持管理につきましては、第一義的には所有者の義務という形になります。ただ、古いものを指定しますので、当然劣化する場合があります。市の指定文化財であれば予算の範囲内で、事業者が行う修復事業等の経費の一部を負担することはできます。

委員長（山城清邦君）

よろしいでしょうか。

《なし》

委員長（山城清邦君）

質問等がないようですので、質疑を終了いたします。

日程第5 議案第7号あきる野市文化財の指定に関わる諮問については、原案のとおり承認することに異議はございませんか。

《異議なし》

委員長（山城清邦君）

異議なしと認めます。

日程第5 議案第7号あきる野市文化財の指定に関わる諮問については、原案のとおり承認されました。

それでは次に移りますが、まだ時間もかかるかと思っておりますので、一旦休憩にしたいと思います。いかがでしょうか。

《異議なし》

委員長（山城清邦君）

それでは、一旦休憩に入ります。

再開は2時50分の予定です。

休憩 午後 2 時 4 3 分

再開 午後 2 時 5 0 分

委員長（山城清邦君）

それでは、再開いたします。

日程第 6 議案第 8 号平成 2 5 年度あきる野市教育委員会所管予算（第 7 号補正）についてを上程いたします。

提出者は説明をお願いいたします。

鈴木教育部長。

教育部長（鈴木恵子君）

議案第 8 号平成 2 5 年度あきる野市教育委員会所管予算（第 7 号補正）についての議案を上程いたします。

提案理由でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 9 条の規定により、平成 2 5 年度あきる野市教育委員会所管予算（第 7 号補正）について委員会の意見を求めるものでございます。

1 枚おめくりください。歳入になります。款 1 6 財産収入、0 1 財産運用収入、0 2 利子及び配当金につきましては、育英資金貸付基金利子が見込みよりも運用利子が多かったため、1, 0 0 0 円補正するものでございます。

次のページをお開きください。歳出になります。学校教育予算につきまして説明をさせていただきます。

1 0 教育費、0 1 教育総務費、0 1 教育委員会費、教育委員会運営経費、会議録作成委託料、補正額 3 万 3, 0 0 0 円ですが、教育基本計画の策定等に伴いまして、審議時間が増加したため、委託料を補正するものです。

0 2 事務局経費、教育委員会事務局学務一般経費、育英資金の繰出金につきましては運用利息が見込みよりも多かったため基金に積み立てるものです。

0 3 教育指導費、周年記念事業経費、3 0 万円の減額につきましては、西秋留小学校が来年度 1 4 0 周年記念事業を実施するに当たり、今年度中に記念誌の作成を予定しておりましたが、来年度に実施することとなりましたので、減額するものです。

0 2 小学校費、0 1 学校管理費、小学校維持管理費、備品購入費 1 3 万 9, 0 0 0 円の増額は、昭和 1 7 年度西秋留小学校卒業生一同から、西秋留小学校へ指定寄附があったため、必要な備品を購入するため増額するものです。

その下の行の光熱水費につきましては、小学校が 1 6 5 万 3, 0 0 0 円、2 行下にある中学校費 3 2 6 万円は不足する電気料金分を補正するものでございます。

0 3 中学校費、0 1 学校管理費、中学校維持管理経費、備品購入費の 2 3 万 1, 0 0 0 円の増額につきましては、平成 2 6 年度東中学校、西中学校の特別支援学級の学級数が増加する見込みであるため、必要となる備品として教卓、ホワイトボード等管理用備品を購入するものです。

0 2 教育振興費、中学校教育振興費、備品購入費 7 0 万 1, 0 0 0 円の増額でございますが、八王子市の大正琴家元、岩佐扇靖氏から増戸中学校の教育事業のために 2 0 万円の指定寄附がございました。そのため、増戸中学校で楽器（マリンバ）を購入するため補正

するものと、また特別支援学級の生徒数が増加することに伴いまして、必要となる教材備品、ラジカセ、キーボード等の購入費47万4,000円を補正するものでございます。その下の就学援助費72万9,000円の増額は、当初予算の見込みよりも受給者数が19人増加したため、不足が生じたものを補正するものでございます。

04学校整備費、中学校整備事業費、その他整備工事の130万7,000円の増額は、先ほど申しました東中、西中の特別支援学級の学級数の増加に伴い一部改修を行うものです。東中学校につきましては、照明機器の取りかえ、飛散防止フィルムの張りかえ、西中につきましては間仕切りの改修、照明機器等の改修を行うものです。

次のページをお開きください。06学校給食費、02給食事業費につきましては、秋川、五日市ともに重油の単価が、当初予算では87円であったものが、3回にわたりまして上昇し、12月には98円となったため、不足する予算を補正するものでございます。

学校教育につきましては以上となります。よろしくお願いいたします。

委員長（山城清邦君）

山田生涯学習担当部長。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

それでは、引き続き社会教育についてご説明いたします。

先ほどの学校給食の上になります。05保健体育費、02体育施設費、いきいきセンター運営管理経費、修繕料21万円、採暖槽制御盤本体の修理として21万円の増額補正でございます。これにつきましては、採暖槽制御盤本体というのは、いきいきセンターにあるプールに必要な備品でございます。主に温度管理、水質管理、水位の管理等を制御する必要不可欠な備品でございます。これに不具合が生じ修理が必要になりました。21万円補正したために補正後は3,313万4,000円に予算としてはなるということでございます。

説明は以上でございます。

委員長（山城清邦君）

説明が終わりました。

ご質問ありましたらどうぞ。

私からよろしいでしょうか。予算の仕組みがよくわからないので質問させていただきます。指定寄附の受け入れが10の02の01、それから10の03の02にあります。この指定寄附を受け入れたことによって支出が増えるというのはわかるんですが、この指定の寄附の受け入れの歳入はどこに計上されるのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

小林教育総務課長。

教育総務課長（小林賢司君）

歳入に関しましては、金銭の場合には契約管財課の契約管財係に計上されます。そこから寄付受け入れ先の部署で支出を組むという仕組みになっております。

委員長（山城清邦君）

教育委員会予算の歳入には計上されないということなんですね。

教育総務課長（小林賢司君）

はい。

委員長（山城清邦君）

わかりました。

私は以上です。

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

いきいきセンターの修理に関して、不具合というのは通常起きないから不具合なんでしょうが、そうそう起こるものではないんですよね。

委員長（山城清邦君）

山田生涯学習部長。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

施設管理をしてみてもわかったんですが、修繕はいろいろと起こります。

以上です。

委員長（山城清邦君）

私から質問よろしいでしょうか。一般論として、重油の単価の増加というのは、結構頭の痛い問題じゃないかと思います。対策のとりようが、実際問題としてはないと思うんですが、この辺について何か懸念されていることがありましたらお伺いしたいと思います。

木下学校給食課長。

学校給食課長（木下義彦君）

給食センターの重油につきましては、契約管財課のほうで年度当初単価契約をしております。今年のように3回も値上がりするようなことはなかなか予測しにくいところですよ。秋川地区は第一と第二でボイラーが2つ、五日市地区はボイラーが1つございます。1日当たり重油を約750リットル使用しますので、年間では約14万7,000リットル使用します。夏場で月約3,500リットル、冬場で月約6,000リットル使用するものですから、やはり単価が上昇しますと最後の1カ月でどうしても足らなくなってしまう、今回補正をさせていただいたものでございます。

委員長（山城清邦君）

これはセンターに限らない問題かと思うのですが。

学校給食課長（木下義彦君）

通常熱源はガスや電気などがありますが、センターについてはボイラーのお湯を蒸気にかえて、それを熱源として調理をするという方式になっているものですから、重油を一番使うことになります。

委員長（山城清邦君）

現状の方式はやはり熱効率が悪いんでしょうか。

学校給食課長（木下義彦君）

施設の的にも40年近く経つ古い施設になります。太陽熱とか電気などもありますが、今の時点では重油が一番簡単な方式で、設備的にも対応できるというところですよ。

委員長（山城清邦君）

ありがとうございました。

田野倉委員。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

教育費の中学校費で就学援助費、認定者数の増加ということで補正とありますが、小学校では就学援助に関して、特に補正はなかったのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

小林教育総務課長。

教育総務課長（小林賢司君）

まず小学校につきましては、当初のほぼ見込みどおりで、予算の中で賄えたということです。中学校につきましては、当初は大体372人を見込んでいましたが、19人増加したため、今回補正することになりました。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

1人当たり大体どのぐらいの補助になるのでしょうか。

教育総務課長（小林賢司君）

例えば学用品費として、小学校1年生が1万2,610円、2年生から6年生が1万4,780円、あと校外活動費、宿泊を伴うもの、5年生が対象ですが、3,470円、あと修学旅行費が、小学校6年生が2万2,681円。あとは入学準備金として、小学校1年生が1万9,900円等々あります。あと給食費として1年生は食数が少ないので4万2,950円、2年生ら6年生が4万4,550円。中学校につきましては、学用品費、1年生が2万3,880円、2年生から3年生が2万6,020円。校外活動費、宿泊を伴うものが、2年生で5,840円、修学旅行費、4万7,329円、あと入学準備金、中学校1年生が2万2,900円、あと学校給食費5万600円、月々4,600円掛ける11カ月の計算です。それぞれ、全員が全ての援助に該当しているというわけではないので、それぞれ学年によったり、項目によったりして差がありますが、このような形で援助をしております。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

ありがとうございました。

委員長（山城清邦君）

よろしいですか。

就学援助の手続としては、これを受けたいなという方は生活保護の認定と関連してくるんですか。

教育総務課長（小林賢司君）

申請していただいて、その収入額が生活保護の認定基準の1.5倍までが就学援助されるという仕組みになります。申請されて、審査して、決定ということになります。

委員長（山城清邦君）

就学援助の申請は、教育委員会に対してすることになるんですね。

教育総務課長（小林賢司君）

そうです。用紙等も各学校に置いてありますので、それを申請していただくという形になっております。

委員長（山城清邦君）

生活保護の基準よりも1.5倍の収入までが対象になるということですね。

教育総務課長（小林賢司君）

そうです。生活保護費では修学旅行費が支給されませんので、生活保護を受けている方の修学旅行費については別途、就学援助で援助するという形になってございます。

委員長（山城清邦君）

よろしいでしょうか。

《なし》

委員長（山城清邦君）

それでは、日程第6 議案第8号平成25年度あきる野市教育委員会所管予算（第7号補正）について、原案のとおり承認することに異議はございませんか。

《異議なし》

委員長（山城清邦君）

異議なしと認めます。

日程第6 議案第8号平成25年度あきる野市教育委員会所管予算（第7号補正）については、原案のとおり承認されました。

続きまして、日程第7 議案第9号平成26年度あきる野市教育委員会所管予算についてを上程いたします。

鈴木教育部長。

教育部長（鈴木恵子君）

議案第9号平成26年度あきる野市教育委員会所管予算についての議案を提出いたします。

提案理由でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、平成26年度あきる野市教育委員会所管予算について委員会の意見を求めるものでございます。

次ページ、資料1をご覧ください。平成26年度教育予算の概要でございます。

上段の表、平成26年度一般会計予算の構成をご覧ください。市の一般会計の予算は総額が304億3,726万5,000円で、そのうち教育費が31億8,415万5,000円、一般会計に占める割合は10.46%でございます。市の予算は平成25年度と比較いたしまして約5億2,200万円、率にして1.7%の増となっております。

中段をご覧ください。平成26年度教育予算の項別の予算及び平成25年度との比較でございます。26年度の教育費予算総額31億8,415万5,000円は、25年度と比較しますと5億8,996万6,000円の減額、率にいたしまして15.6%の減額となっております。

区分ごとの予算といたしましては、小学校費、中学校費が43.23%、45.42%と大きく減額しておりますが、いずれもエアコン設置工事費の減額が主な要因となっております。

また、保健体育費の41.56%の減額につきましては、国民体育大会の事業が終了したことが主な要因でございます。

次に、下段の教育予算の推移でございます。平成22、23年度と耐震補強工事により

事業費が増額をいたしました。24年度につきましては1年縮小されましたが、平成25年度は小中学校全校のエアコン設置工事と国体事業の費用の増加により増額となっております。26年度につきましては、それらの事業の完了により約6億円の減額となったというところでございます。

次のページをお開きください。こちらは科目ごとの25年度の比較となっております。

続いて、資料2、A4横のページをご覧くださいと思います。教育委員会所管予算の事業別予算の内訳でございます。表は、事業名称、平成26年度の予算額、平成25年度の予算額、増減額、増減率、備考につきましては、丸印で主な新規事業、四角は主な予算の変動事由を記載してございます。

主なものについて、学校教育は私から、生涯学習は山田部長から説明をいたします。

おおむね増減額が100万円以上のもの、また特徴的なものについて説明をさせていただきます。

この表の10の教育費、01教育総務費、01教育委員会費の教育委員会だより発行経費103万6,000円につきましては、教育情報の提供の必要性から、ページ数を平成24年度までのページ数に戻しました。今年度につきましては、8ページを1回、4ページを2回といたしますので、印刷製本費を増額しております。

続いて、02事務局費、中段になります。小規模学校対策事業経費、増減額が374万1,000円の減額となっております。こちらにつきましては、戸倉小学校の統合に際して、統合後の1年間に限り五日市小学校に配置しておりました臨床心理士の報酬99万5,000円の減額、また統合に伴う備品の移設費等々46万円、改修工事費約50万円、備品購入費約70万円の総額の減額でございます。

次のページ、2ページをお開きください。03教育指導費、教育指導一般経費、増減額96万1,000円の減額でございますが、秋川流域市町村視聴覚協議会の廃止に伴う負担金の減額、その他の経費の相殺によりまして96万1,000円を減額いたします。

続きまして、その3行目下、せせらぎ教室管理経費、増減額124万1,000円の増額でございますが、今年度まで主任専任指導員が都費負担であったものが、市で雇用する必要があるため増額となっております。1名分、1日7時間で、月14日分となります。

次に、1行置きまして、特別支援教育推進事業経費、減額が122万7,000円となります。巡回相談員の人数、また報酬単価に変動はございませんが、勤務日数等の見直しによりまして、報酬及び社会保険料が必要なくなったため減額となったものです。

また、特別支援教育推進事業と市立小中学校教育情報ネットワーク、先ほど説明をいたしましたけれども、事務分掌を交換したために、備考欄の右端に事務分掌変更という記載をしております。

次に、周年記念事業経費につきましては本年度と比較して30万円の増額となっております。26年度は140周年事業が多西、西秋留、五日市小学校、40周年事業が南秋留、草花小の記念事業に対して補助金を交付するものでございます。この事業につきましても指導室から教育総務課に事務分掌を移行しております。

その下の学力向上パートナーシップ事業経費につきましては、250万の増額となっておりますが、東京都から平成25年度、26年度の2カ年受託をしたもので、26年度当

初予算に計上をしたものです。指定校につきましては、東中学校区の東中、東秋留小、屋城、前田の4校となります。

次に、その下の理数フロンティア校事業経費につきましても、同様に東京都受託事業として実施するもので、指定校は五日市中学校、一の谷小学校の2校でございます。

続いて、その下の教育相談所管理経費につきましては、臨床心理士4名分の報酬と、主任専任相談員の報酬ですが、件数の増加や相談時間の長時間化により臨床心理士の勤務時間を1日7.5時間に延長したこと、また都費負担の主任専任指導員の報酬を市費負担により雇用するため増額となったものでございます。総額は88万円の増額でございます。

それから、表03の一番下、言語能力向上推進事業経費、増額は179万7,000円の増額となっておりますが、こちらは先ほど申し上げたものと同様で、東京都の補助により実施する事業でございます。

続いて、02小学校費、01学校管理費、小学校維持管理経費、871万3,000円の減額、非常勤職員の賃金の減額につきましては、これまで学校事務、それから特別支援学級介助員の経費を当科目で計上しておりましたが、介助員につきましては特別支援教育事業経費に1,271万6,000円を移行しております。

また、光熱水費としてエアコン分608万6,000円と記載しておりますけれども、エアコン設置に係るガス代として9校分を計上しております。ちなみにエアコン1台当たりの年間使用料の見込みにつきましては、LPガスが3万2,200円、都市ガスにつきましては約3万円、2万9,700円を見込んでおります。

その下の小学校維持管理一括経費、施設管理分の減額です。2,735万8,000円の減額につきましては、昨年度は3年に1度の特殊建築物の定期調査の実施年度であり、あわせて外壁の打診調査を行ったため高額でございましたが、完了に伴いまして減額したものでございます。

その下の小学校特別支援学級宿泊事業経費、減額が164万3,000円でございますが、こちらは新たにその下の欄で小学校特別支援事業経費を新設をして統合したもので、合わせて1,427万6,000円の増額となっております。

3ページの中段をご覧ください。04学校整備費、小学校整備事業経費につきましては総額で3億2,000万ほどの減額になっておりますけれども、エアコン設置工事の完了に伴いまして大幅な減額となっております。

また、今年度実施する工事につきましては、ここに記載しておりませんが、南秋留小学校の水道の直結化工事を行うために設計を行います。また、こちらに記載していませんが非構造部材の耐震化につきましては、例えば体育館であるとかの大きな空間の落下防止を最優先といたしまして、小中学校全校の体育館、クラブハウスの天井、照明、バスケットボール、スピーカー等の調査と設計を行います。その結果によりまして、工事を27年度実施する計画でおります。

その下のプール塗装工事につきましては五日市小学校、プールろ過器移設工事につきましては、小宮小学校のろ過装置を五日市小学校に移設する予定でおります。

その下の行、屋内消火栓地中配管改修工事につきましては、校舎の改築時から取りかえが実施されていない古い配管につきましては、26年度から28年度まで、3カ年で実施す

る予定でありまして、26年度は東秋留小と五日市小学校で実施をいたします。

屋城小学校防火扉改修工事につきましては、特殊建築物定期検査で既存不適格となっているため実施するものです。

トイレ大便器洋式化工事につきましては、トイレ各階の1カ所に和式を残しまして、残りを全て洋式化するもので、平成24年度から3カ年計画で実施してはいましたが、本年度で完了となります。26年度実施する学校につきましては、東秋留小15カ所、南秋留小8カ所、西秋留小9カ所、五日市小13カ所、合計45カ所を予定しております。

続いて、中学校費、01学校管理費、中学校維持管理経費は、総額で704万2,000円の減額となっております。理由は、小学校と同様に、特別支援学級介助員の賃金の組みかえによる減額、エアコン設置による光熱水費の増額によるものでございます。

中学校維持管理一括経費、施設管理分、減額が1,312万9,000円ですが、こちらも小学校と同様に特殊建築物定期検査報告書の完了によるものでございます。

その2行下、特別支援学級関係経費につきましては、小学校と同様で組みかえを行っております。

1枚おめくりいただきまして、4ページになります。02教育振興費、中学校教育振興経費、増額が205万1,000円となっておりますが、就学援助費が135万8,000円、生活保護受給者の就学奨励費が36万1,000円の増額を見込んでおります。理由につきましては、いずれも受給者の増加と消費税の影響を見込んでいるものです。

少し飛びまして、04の学校整備費、中学校整備事業経費につきましては、エアコン設置工事の完了に伴いまして2億7,548万の減額となっております。こちらのほうにつきましても備考欄に記載しておりませんが、東京都の補助を活用して水道直結化のための設計料、東中学校で予定をしております。

また、プール塗装工事は、増戸中と西中で、また増戸中学校校庭補修工事につきましては、校庭整備をしてから26年が経過をしてはおりまして、小石が表面に出ている状況になりましたので、補修工事を実施するものです。

トイレの洋式化につきましては、秋多中が10カ所、東中が21カ所、西中が11カ所、御堂中が17カ所、増戸中が6カ所で、計65カ所を予定しております。

1枚おめくりいただきまして、7ページをご覧ください。学校給食費になります。06学校給食費、01給食総務費、給食庶務一般経費、増額は12万1,000円でございますが、新しい給食センターの整備に向けて準備を進めるため、PFI事業支援員として謝礼を予算化しております。

次に、給食センター管理業務経費（秋川）、831万円の増額ですが、備考にあります瞬間殺菌消毒洗浄機、連続揚物機、蒸気回転釜は、機器の老朽化に伴いまして25年9月から5年間の長期継続契約の借り上げで対応をしているものです。また、一番下の欄の秋川第一、第二学校給食センターの改修工事650万につきましては、大規模地震が発生した際に、近隣の住宅や通行に影響のあると考えられる箇所の改修工事を行うものです。

給食センター管理業務経費（五日市）、こちらのほう225万5,000円の増額につきましては、秋川と同様に連続揚物機、また球根皮むき機の借り上げによるものでございます。

最後に、02給食事業費、学校給食事業費（秋川）の147万2,000円の減額につきましては、燃料費と学校給食費の配送委託料の消費増税の影響と燃料費の単価アップにより増額となったものの、児童生徒数の減少に伴いまして材料費が減額になったため、事業費総額としましては減額を計上しております。

また、五日市につきましては、126万5,000円の増額となっておりますが、燃料費と給食費の配送委託料の消費増税の影響、また単価アップによりまして増額としております。

以上が資料2の学校教育関係になります。

資料3につきましては、26年度の新規事業を掲げておりますけれども、説明と重複いたしますので、省略させていただきます。

また、詳細につきましては、歳入歳出とも見積もり内示額の推計結果を一覧で添付してございます。

学校教育関係は以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

委員長（山城清邦君）

山田生涯学習担当部長。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

続きまして、生涯学習の関係について説明をいたします。

今の歳出の資料、4ページをお開きください。この表の下のほう、04社会教育費、01社会教育総務費からご説明いたします。おおよそ増減額が100万円以上についてご説明しましたので、次の5ページからになります。上から2段目、02文化財保護費のその下、文化財保護一般経費、増額が117万3,000円でございます。これにつきましては農村歌舞伎用かつら修繕になります。このかつらについては平成5年TAMAライフ21のときに購入し、20年経過しておりますので修繕を行います。内容としては、洗髪をして、結い直しをするというような作業になります。これが115万7,000円。

その1つ下、全国地芝居サミット開催準備調査事業経費。ちょっと金額大きいですが、807万6,000円です。これにつきましては、来年、27年5月2日、3日で開催予定となっております全国地芝居サミットの開催に向けて、26年度で実行委員会を組織しその運営に必要な経費を、実行委員会に対して補助金として市から支出するという経費でございます。周知をするための経費、設営のための事前準備の経費などで、807万6,000円になってございます。

続きまして、このページの一番下の欄、05図書館費でございます。内訳の3つ目でございます。五日市図書館運営管理経費114万4,000円の増額につきましては、1つ3万円のICタグを80個購入するというので、昨年よりも増額になります。ちなみにその上、東部図書館運営管理経費は25年度でICタグをそろえたので、149万3,000円の減額になります。

ちなみにこのICタグというのは、五日市図書館につきましては、大規模改修を行い2月1日にリニューアルオープンしました。その際に入りに口にICゲートをつけました。ICゲートには、無断持ち出しを防ぐための、そのチェックができるというメリットがあります。さらにもう一つのメリットとしては、今までバードコードリーダーで本の貸し出

しをしていたんですが、ICタグをすることによって、自動貸出機で利用者の皆様みずから貸し出し手続きができるようなサービスもできるようになります。必要な機材もございませんので、先行して中央図書館で26年度からそのサービスができるようになります。説明が長くなりましたが以上でございます。

続きまして、中央図書館運営管理経費290万2,000円の増額、これにつきましては図書館の嘱託員の人件費2名分、25年度までは職員課で計上していたものを、所管がえで26年度からは図書館で経費を計上するため増額となります。市全体の支出は変わらないのですが、所管がえにより図書館の経費が増額したということでございます。

その下、中央図書館維持管理経費158万6,000円につきましては、備考欄のとおりです。まず、空調監視用システム交換業務委託料、これについては空調、エアコン等の管理用のシステムというのがございます。これが経年劣化し、耐用年数が来たためにシステムの交換をするものです。その下の空調設備管理用パソコン借上料、こちらはパソコンの入れかえをいたします。一番下の自動出納書庫管理用パソコン借上料、これについては中央図書館の3階に閉架書庫がございまして、書庫から自動で本を持ってくるような仕組みになっておりまして、その管理用パソコンを入れかえて借り上げる経費でございます。

続きまして、次のページ、06郷土館費の五日市郷土館運営管理経費、2,460万円の増額になります。備考欄見ていただきますと、まず剪定・除草委託料、これは16万3,000円、これは郷土館の前にある市倉家住宅の前に、斜めのもみの木があるんですが、それを剪定する経費です。次が旧市倉家住宅屋根改修工事、これは経年劣化によるもので、カヤぶきをふきかえる工事になります。

続きまして、二宮考古館運営管理経費258万3,000円、これにつきましては空調設備改修工事のことで、エアコンの買い換え以来24年が経過しており、経年劣化しております。計画的に改修を実施し、26年度は考古館のに入ったすぐのところのロビーの空調について改修工事を行うものでございます。

続きまして、その下の07秋川キララホール運営費の秋川キララホール運営管理経費でございます。これは2億1,041万8,000円の増額でございます。額が非常に大きいんですが、キララホールの空調は集中型の一体でやっておりますので、改修をするとこれだけの金額がかかってしまいます。ちなみにこの経費については、地域の元気臨時交付金というのがございます。国の経済対策で平成24年12月に自民党が政権をとった後、公共投資を地方負担でやると経済負担が非常に大きくなるので、これを公共投資等については国からお金を補おうということで、1兆3,980億円について補正をしました。24年度の終わりにかけての補正だったので、仕組みとしては25年度に地方自治体で対応できるような形をとりました。しかしながら、それでも1年間で全部を補えませんので、26年度に引き続き地域の元気交付金事業として対応できる仕組みがありまして、それを使うということです。

その下のあきる野ルピア運営管理経費、これも同じような空調関係で工事7,694万6,000円の増額になります。キララホールについては1億6,700万円、ルピアについては5,260万円がその地域の元気臨時交付金で対応できることになります。市の一般財源での負担が少なく、工事をできることになります。

続きまして、その下、05保健体育費のうち、項目の下から2番目、国民体育大会開催事業経費、ご承知のとおり昨年10月で国体が終了しましたので、2億1,272万9,000円の減額でございます。

続きまして、その一番下、02体育施設費のうち五日市ファインプラザ運営管理費経費、この841万1,000円の増額につきましては、指定管理委託料の消費税の増額分がございまして、内容は変わりません。次の非常用放送設備交換及び火災受信設備交換、これについては消防の定期検査で指摘を受けまして、工事をいたします。

その下、市民プール運営管理経費でございます。これは643万1,000円の増額。まずは、指定管理委託料でございます。これについては先ほどと同様消費税の増額分と、説明が複雑になりますが、市民プールに25年度で熱源装置というものを新たに導入しました。この熱源装置というのは、室内プールというのは一定の温度、30度ぐらいに保つ必要があります。その温度を維持するためにいろいろな熱源を用いるんですが、電気を用いる方式がプロポーザルをした結果、一番省エネタイプだということで導入をいたしました。当初簡単な工事で済むということで、25年4月にこの熱源装置を入れることによって電気代が非常に軽減される見込みでしたので、指定管理料を100のところ50から60ぐらいで予算化しておりました。しかし、実際工事が諸般の事情で8カ月後になってしまったので、その分の電気代分を相殺して、本来出すべき管理料を26年度で支出するということで、指定管理料が増額しております。

その下の熱源機保守管理、熱源機借上料等につきましては、今説明したように25年度で熱源装置の工事をしたんですが、購入すると高額なので、借り上げ料になります。熱源機についてはリース契約し、保守も月額でやっておりますので、26年度では増額になっております。次の空調設備、エアコン等については、経年劣化によって改修工事をいたします。駐車場整備については、市民プール前のコンクリートに区画線の表示をいたします。

続きまして、1つあげまして、秋川体育館・中央公民館運営管理経費477万8,000円の総額ですが、これも指定管理料につきましてはほぼ消費税増税分でございます。消火器詰替手数料、これについては法定の耐用年数10年が満了したために詰め替えの手数料が発生いたします。続きまして、自動体外式除細動器、AEDのことですが、これを新たに2台リースし、公民館と体育館に設置いたします。あと消防設備改修工事、防火シャッターの改修でございます。あと一番下、物品等購入費、ご覧のとおり空手競技用のマットを2コート分備品として購入いたします。

長くなりましたが、以上で説明を終わらせていただきます。

委員長（山城清邦君）

資料3の新規事業、1から3ページまでは特に触れなくてよろしいですか。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

それでは、資料3についてご説明させていただきます。

2ページをお開きください。4の生涯学習スポーツ課のところ、社会教育費については、今私が歳出で説明した内容と同様のものになりますので、説明は省略させていただきます。5の保健体育費、東京都市町村総合体育大会負担金については51万円、実は毎年総合体育大会をやっていたんですが、25年度は国体がありましたので実施しませんでし

た。そのため26年度の新規事業のようになっておりますが、背景にはそういった経緯がございます。

次のスポーツ推進審議会関係経費につきましては、先ほど議案第3号でご説明した、新たに条例をつくって審議会を設置する委員の方の報酬でございます。

あと、その下の体育施設費、運動場維持管理経費の真ん中、グラウンドトイレ改修工事、157万5,000円については、総合グラウンド、小和田グラウンド、山田グラウンドのトイレを洋式化する経費でございます。

あとは、おおよそ先ほど歳出のほうでご説明をさせていただいております。

歳入については、また何かご質問があればお受けしたいと思います。

以上でございます。

委員長（山城清邦君）

ご説明ありがとうございました。

説明が終わりました。内容が多岐にわたりますが、ご質問がありましたらどうぞ。

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

何点かあるんですが、歳出の7ページ、10の05の02の秋川グリーンスポーツ公園維持管理経費、約1,000万の予算ですが、これはどういった経費になるのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

岡野課長。

スポーツ・公民館担当課長（岡野要一君）

グリーンスポーツ公園は、いきいきセンターと一緒に管理をしております。施設としては、テニスコート2面、少年野球場3面、アスレチック遊具がございます。その管理のための経費でございます。

委員（宮田正彦君）

人件費と考えてよろしいのでしょうか。

スポーツ・公民館担当課長（岡野要一君）

資料、歳出の集計結果の30ページをご覧ください。消耗品が11万8,000円、あと燃料費、光熱水費などがございます。施設の維持管理委託料が233万、土地借上料が一番金額が大きくて、746万2,000円になります。土地につきましては雨武主神社の土地になりますので、そちらへ支出をしております。

委員長（山城清邦君）

宮田委員、次のご質問をどうぞ。

委員（宮田正彦君）

先ほど説明していただいた市倉家の屋根改修工事ですが、何年か前にも実施されたことがあるかと思うんですが。

委員長（山城清邦君）

関谷課長。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

屋根の棟の部分が腐食して、直したことがあります。部分的に直したのが何回かござい

ます。

委員（宮田正彦君）

今回は全面改修になるんですか。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

今回はカヤが経年でやせ細ってしまいまして、下地の竹が見え始めてきております。今のうちに直さないと、下の住宅まで腐食をしてしまうということで全面改修いたします。

委員（宮田正彦君）

業者もおそらく少なくなっていると思いますが、業者の選定は入札制度か何かで決めていくんですか。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

そういうことになろうかと思います。

委員長（山城清邦君）

丹治委員。

委員（丹治 充君）

2点質問よろしいでしょうか。

まず1点目は、歳出の見積りの集計結果、4ページの外国人学校生徒等教育振興経費、額的に補助金2万4,000と少ないのですがどういった経費になるのでしょうか。

教育総務課長（小林賢司君）

この経費につきましては、あきる野市外国人学校生徒等保護者負担軽減費補助金交付要綱に基づきまして、生徒1人につき月額2,000円を保護者に支給する制度でございますが、ここ数年該当者がいません。

委員（丹治 充君）

そうですか。

教育総務課長（小林賢司君）

過去に、平成13年から19年までは実績がございますが、それ以降は実績がございません。立川にある朝鮮学校が主な対象の学校だったということで、ここ数年実績はございませんが、1人分予算措置をしております。

委員（丹治 充君）

わかりました。もっとたくさん該当の方がいらっしゃるのかなと思ったものですから。

委員長（山城清邦君）

新村部長。

指導担当部長（新村紀昭君）

今のこちらの経費は市内の小中学校にいる外国人の子供ではなくて、市内に在住しながら外国の学校に通っている子供たちに対する補助になりますので、以前お話に出たような外国人児童生徒に日本語の指導をする経費とは全く別のものがございます。

委員（丹治 充君）

それから2点目は、栗原市との交流事業ありますよね。これはどこの項目に入っているのでしょうか。大島子ども体験事業費やマールボロウ市の国際化推進事業経費はあるのですが。

指導担当課長（千葉貴樹君）

教育指導の一般経費の中にございます。

委員（丹治 充君）

教育指導の一般経費ですか。

委員長（山城清邦君）

7 ページの友好姉妹都市親善交流事業補助金ですか。

指導担当課長（千葉貴樹君）

はい。来年度は訪問の年になりますので、120万円になります。受け入れの年ですと96万円になります。

委員（丹治 充君）

現地まではバスで行くんですか。

指導担当課長（千葉貴樹君）

はい、そうです。

委員長（山城清邦君）

丹治委員、ほかに質問ありますでしょうか。

委員（丹治 充君）

結構です。

委員長（山城清邦君）

では、私のほうから質問いたします。エアコンが今年度から稼働して、LPGを使い始めていると思います。当初GHPのエアコンに置きかえた場合に、光熱費がどのくらいになるのか、おおよそはわかっても、実際よくわからないということでした。今回の26年度の予算に反映させる場合に、25年度に使ったLPGの実績から来年度を予想した場合に、従来为重油と、それを回す電気で行っていた場合との経費の差は見えてきているのでしょうか。

委員長（山城清邦君）

鈴木部長。

教育部長（鈴木恵子君）

詳細はまだ、中学校についても1年経過しておらず、つかめていないところなんです、中学校が9月から稼働し始めた状況ということで申し上げたいと思います。削減となりますのは、当然重油代、それから空調機の保守料、それからオイルタンク等の点検清掃料等々が削減になります。追加となりますのは、電気料金、それから当然LPガス代、東中は都市ガスですので、都市ガス代、その状況を相殺しますとほぼ同額というふうになっておりますので、9月からの状況ではありますけれども、エアコンを設置したことで大幅な増額というのは今のところされていないと考えられると思います。ただ、LPガス代は従量料金制度で公共料金ではありませんので、先ほど重油の話でもありましたけれども、原油価格によって大きく左右されます。26年度についても毎月見直しが必要かなと考えております。単価が上下し、高かったり、安かったりをしますので、そこはちょっと注視しなくてはいけないと考えておりますが、エアコンを設置したことで大幅な燃料費、光熱水費の増額は見込まなくても済むのではないかと感じています。

26年度の予算で見ますと、小中合わせまして、予算上は約100万円の増額は見込んでおります。

以上です。

委員長（山城清邦君）

冷房を使用した上での話ということですね。

教育部長（鈴木恵子君）

はい。

委員長（山城清邦君）

今までは冷房を使用してなかったわけですから、使用した上でも経費が余り変わらないかもしれないということでしょうか。

教育部長（鈴木恵子君）

そう大きな増額はなくて済むのではないかなというのが、今のところの見込みです。

委員長（山城清邦君）

ありがとうございました。

それから、予算書のほうの2ページの10の01の03の特別支援教育推進事業経費の中で、先ほどのご説明で巡回相談員の報償、社会保険料が勤務日数の減により減っているという説明がありました。巡回相談員の需要というのは当然減ることはないと思いますが、どうしてなのでしょう。

鈴木部長。

教育部長（鈴木恵子君）

先ほどの説明の中で申し上げましたとおり、人数、時間数については減らしてあります。実は24年度まで社会保険料がかかる日数勤務していただいた方が退職しました。現在は社会保険料の対象外の範囲で人員を増員し対応しております。

委員長（山城清邦君）

短時間の方が増えたということですね。

教育部長（鈴木恵子君）

はい。週当たりの勤務日数、1人当たりの時間を減らすことで、総体的な人数を確保し対応できたということです。

委員長（山城清邦君）

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

歳出の1ページ、事務局費の学校防災費備蓄整備事業経費、金額の問題ではないんですが、この辺の進捗状況はどうなっているのでしょうか。

教育総務課長（小林賢司君）

備蓄ですね。備蓄の関係につきましては、東京都の帰宅困難者対策条例では児童生徒3日分の備蓄をすることとなっております。あきる野市では生徒、児童、教職員の3割が1日滞在できるように5年間かけて備蓄をするため、25年度から実施をして、26年度が2年目になります。

委員（宮田正彦君）

既に取り組みられているんですね。

教育総務課長（小林賢司君）

25年度、本年度から実施しております。

委員（宮田正彦君）

備蓄には、空き教室を利用しているんですか。

教育総務課長（小林賢司君）

空き教室や倉庫等、学校によってさまざまです。それぞれ今後5年間かけて備蓄をするということになっております。

委員（宮田正彦君）

わかりました。

委員長（山城清邦君）

あと地芝居サミットの概要をお話しいただけたらと思うのですが。

関谷課長。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

全国各地に地芝居の伝承地がございます。毎年地芝居を伝承している自治体で、手を挙げましてやっております。あきる野市も農村歌舞伎の地芝居の伝承地でございますので、手を挙げまして、日程は平成27年の5月2日、3日の2日間、会場はキララホールとキララホールの前の芝生広場を予定しております。地芝居サミットは、地芝居の講演とシンポジウム、また夜の地芝居伝承団体等による交流会によって大きくは構成されております。会場をキララホールと前の芝生と申し上げましたが、キララホールの前の芝生では、東京都指定有形民俗文化財の菅生組立舞台を設置いたします。そこを1つのステージとして、秋川歌舞伎保存会菅生一座による歌舞伎公演と、あとおはやしですとか、そういったものも披露するプログラムにしていく予定です。

委員長（山城清邦君）

2日間開催されるんですね。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

はい、2日間です。

委員長（山城清邦君）

ほかの府県からのお芝居も出演されるんですか。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

実際に出演するのは地元の団体のみでございます。

委員長（山城清邦君）

丹治委員。

委員（丹治 充君）

これ指導室の予算だと思うんですが、歳出の16ページです。10、03、02で中学校教員補助員配置事業経費、この中にAETも含まれているわけですね。

指導担当課長（千葉貴樹君）

別の経費になります。これは教員補助員の経費になります。

委員（丹治 充君）

そうするとAETはどちらの経費の中にあるのでしょうか。

指導担当課長（千葉貴樹君）

中学校については15ページの国際理解教育経費になります。

委員（丹治 充君）

そちらになるんですか。先ほど事務分掌の変更のお話があったものですから。

教育部長（鈴木恵子君）

先ほど説明した組織上の話と予算科目は別に動いておりますので、事務分掌の中での教職員の指導の補助に関することという位置づけに外国人指導助手も組織上は一括で入れたということになります。

委員（丹治 充君）

そうですね。少しわかりにくいですね。

AETについて、小中学校は何時間配当で、どのぐらいの試算額になりますか。

指導担当課長（千葉貴樹君）

AETは、今年度は日数で配当していたんですが、来年度からは時間数で配当していく形になります。今年度は小学校で3人、345日を各学校の要望に応じて配置しました。来年度からは時間単位になりますので、2,000時間を各学校の学級数に応じて配当いたします。今年度は日数で、来年度からは時間数で、より効率的にAETを配当する形にさせていただきました。

委員（丹治 充君）

中学校は何時間になりますか。

指導担当課長（千葉貴樹君）

中学校が2,160時間になります。

委員（丹治 充君）

中学校も学級数に応じて配当になるのでしょうか。

指導担当課長（千葉貴樹君）

はい、学級数に応じて配当いたします。交通費が今年度以上に来年度かかりますので、少し増加しております。

委員（丹治 充君）

時間数を学級数で割った時数がAETの授業の時間ということですね。

指導担当課長（千葉貴樹君）

そうです。

委員（丹治 充君）

去年より増えているのですか。

指導担当課長（千葉貴樹君）

時間数で換算すると若干減っております。ただAETを有効に配置し、補強させることができるので、学校にとってのメリットは大きいのかなと考えております。

委員（丹治 充君）

ありがとうございました。

委員長（山城清邦君）

私から質問いたします。地芝居サミット、19ページの内訳書に実行委員会補助金として735万4,000円とありますが、内訳についてお伺いします。それから、補助金のあり方としては、実行委員会が組織されて、予算書がつくられて、その予算に対して補助金を交付するという、そういう形になるのでしょうか。735万4,000円と高額かなと思いますので、その内容を教えていただきたいと思います。それから、ルピアの電気設備改修工事が7,020万円かかるということですが、築年数が経っているとはいえ、随分かかるんだなと正直なところ、感想を持ったものですからご説明願えればと思います。

関谷課長。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

地芝居サミットの補助金の内訳につきまして、今手元に資料がございませんので、後ほどご報告させていただきます。

ルピアにつきましては築17年になります。全体的に設備も老朽化が進んでおります。

委員長（山城清邦君）

建物の修繕は費用がかかりますね。

役所の会計の仕組みというのが、先ほどご説明あったように収入は別途で受けて、支出だけ計上する必要があったりして、実際に市がどのくらい負担していくのかなということがよくつかめない構造になっているように感じます。

山田部長。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

地芝居サミットについては、主な歳入は市からの補助金になります。市のほうから補助金をいただいて、実行委員会で予算立てをします。総会を開いて、その予算を決めていただきますので、市と同じです。市を小規模にしたような形になります。歳入は市の補助金、歳出については実行委員会で支出を決めてもらって、それを予算案として決めて、決まったらその中から支出をして、年度の終わりに決算をするという形になります。国体と同じような形ですすめていくことになります。

委員長（山城清邦君）

当然試算して、積み上げていっているわけですね。支出の内訳を教えていただければと思います。

教育部長（鈴木恵子君）

今ご指摘いただきました財源内訳につきましては課題とさせていただきます、市の負担、補助金等々が明確にわかるように、詳細な科目ごとは難しいかと思いますが、事業ごとには出せると思いますので、今後させていただきますと思います。

委員長（山城清邦君）

交付税式のものもあるでしょうし、補助率が決まっているものもあると思いますので、できましたらお願いできればなと思います。

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

詳細の資料の23ページ、05の中の1308の01の増戸分室図書館業務委託料とありますが、これはどこかへ委託しているんですか。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

平成25年4月1日から増戸分室の全面委託を専門の業者である図書館流通センター、TRCに委託をしております。ただし、本の選書については、中央図書館の分室になりますので、中央図書館でやっています。貸し出し、返却などはTRCに全面的に委託しておりますが、選書等、資料等については市の職員がやっております。その経費でございます。

委員（宮田正彦君）

図書館として委託しているのは増戸分室だけですね

委員長（山城清邦君）

山田部長。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

あきる野市は図書館4館ありますが、この増戸分室が今のところ業務委託をしております。

委員長（山城清邦君）

理由としては、規模が小さいということもあるんでしょうか。

生涯学習担当部長（山田雄三君）

そういうことも考えられますね。

委員長（山城清邦君）

わかりました。

関谷課長。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

先ほどの、地芝居サミットの補助金の内訳についてご説明いたします。

委員長（山城清邦君）

どうぞ。

生涯学習スポーツ課長（関谷 学君）

主立ったものについてご説明させていただきます。まず、賃金として約170万、これは実行委員会として事務作業に携わる事務員を雇用いたします。旅費として、実行委員会の旅費、これは今度新潟でのサミットがあって、そこで引き継ぎ式等に出席する必要がございます。その旅費が約29万。需用費の項で言いますと、消耗品として約70万見込んでございます。あとスタッフジャンパーの作成代が約50万円、あとポスター、チラシ等の作成、印刷費が115万、端数は省略しております。あと展示用写真パネル印刷費が37万、これはあきる野市のさまざまな芸能ですとか、あきる野市の歴史的な特色、さまざまな見どころ等を紹介するための展示ブースを設けようということで、情報発信のためにつくるものでございます。あと記念グッズの作成費が約25万。あと主立ったところを言いますと、委託料です。これはのぼり、会場の各種看板、横断幕、めくり等の作成、設置費などで約60万。あとサミットを開催するときには全国の各種保存団体に呼びかけをしまして、参加申し込みをして、宿泊やバスの手配などのさまざまな手配を一手にやる申し込み受付、宿泊関係の事務の委託が必要になります。それが約107万、これが主なところでございます。

委員長（山城清邦君）

大体こういった経費というのは毎年やっていることですから、他府県の状況を見ながら様子をつかんで、予算を組んでいくということなのではないでしょうか。ありがとうございました。

ほかにご質問はありますか。

《なし》

委員長（山城清邦君）

それでは、質問等がないようですので、質疑を終了いたします。

日程第7 議案第9号平成26年度あきる野市教育委員会所管予算については、原案のとおり承認することに異議はございませんか。

《異議なし》

委員長（山城清邦君）

異議なしと認めます。

それでは、日程第7 議案第9号平成26年度あきる野市教育委員会所管予算については、原案のとおり承認されました。

次に、日程第8 報告事項（1）あきる野市立中学校部活動外部指導補助員に関する要綱の一部改正について。

説明をお願いいたします。

新村指導担当部長。

指導担当部長（新村紀昭君）

それでは、資料に基づいてご説明いたします。

あきる野市立中学校部活動外部指導補助員に関する要綱の一部改正について、記書きに書いてございますが、説明は2枚目の新旧対照表でさせていただきます。

下線が引いてあるところを文言修正しましたが、一番大きな変更点は新たに第11条を設けたことでございます。第11条、障害保険、委員会は、指導補助員の指導中の事故に備え、障害保険に加入するものとする。2、委員会は、指導補助員の指導中の事故に対して、前項の障害保険が適用される範囲内で補償するものとするということでございます。

そして、裏面になりますが、第12条、附則として、26年4月1日からこの要綱を施行するということでございます。

今まで外部指導補助員に対しては、非常に大きな事故の場合には一部補償がされるんですが、軽微な、例えば指導中につまずいて捻挫をしたなどの場合には、今まで補償が十分でなかったということで、今回こうした保険を適用することによって責任の所在を明らかにするということでございます。

以上です。

委員長（山城清邦君）

ありがとうございました。

質問はよろしいですか。

《なし》

委員長（山城清邦君）

それでは、本件は報告として承りました。

次に、日程第9 報告事項（2）ふれあい月間（11月）の調査結果について、報告者

は説明をお願いいたします。

加藤指導主事。

指導主事（加藤治紀君）

それでは、ふれあい月間（11月）の調査結果についてご報告いたします。

まず、資料1をご覧ください。表の右側の部分が今回、11月の調査結果となっております。

11月に行ったふれあい月間におけるいじめの認知件数は、小学校5件、中学校9件、合計14件でした。例年11月の調査では件数が多い傾向がありますが、今回は比較的少ない認知件数となっております。この原因としましては、従来は6月の調査の後、11月まで調査はなく、調査に間隔がありましたが、今年度は9月にも「いじめの実態及び対応状況把握のための調査」において児童生徒にアンケート調査を全校が実施したことにより、教員並びに児童生徒のいじめ問題に対する意識が高まり、それにより「いじめについて考える日」などの各校における未然防止に向けた取り組みも一層の充実が図られたためと考えられます。

また、認知件数14件のうち11月末時点で解決済みとなっているものが、小学校2件、中学校9件、合計11件で、ほとんどの案件は早期に対応され、11月中に解決に至っております。この傾向は今年度の6月、9月の調査における傾向と同様でございます。

なお、未解決3件の理由につきましては、いずれも調査による把握の直後であったためとの報告でございました。

次に、全校配置となっているスクールカウンセラーによる対応ですが、いじめの案件に対してスクールカウンセラーがかかわった件数は、小学校3件、中学校1件で、割合としては、前回調査よりも増加しております。今後も教育相談担当者会議等を通じていじめ問題に対するスクールカウンセラーのかかわりを積極的に推進してまいります。

また、「いじめについて考える日」などの取組を継続的に実施し、各校が日頃から未然防止を図っていくことも重要であると考えております。

今後指導室は東京都より示された「いじめ総合対策」を受けまして、来年度のいじめ防止対策に向けた具体的取り組みを協議してまいります。

次に、不登校についてご説明申し上げます。資料2をご覧ください。11月末の不登校児童生徒の数と全体の児童生徒数に対する出現率の表でございます。表の中段に小学校、下段に中学校の合計が集計されております。30日以上欠席している不登校児童生徒は、小学校が男女合わせて11名、中学校は男女合わせて45名でした。全体の児童生徒数に対する不登校児童生徒の出現率は表の右側でございます。昨年度の同時期の数値と比較すると、小学校は約4割増、中学校はほぼ同様という結果になってございます。

今後はせせらぎ教室等と連携し、これらの児童生徒の学校復帰を促していくとともに、新たな不登校児童生徒が増加することのないよう小学校段階から早期の面談や家庭訪問等に努めるとともに、小学校から中学校への情報の引き継ぎを密にしていかなければならないと考えております。

以上をもちましてふれあい月間（11月）の報告とさせていただきます。

委員長（山城清邦君）

ありがとうございました。

ご質問ありましたらどうぞ。

田野倉委員。

委員長職務代理者（田野倉美保君）

今加藤主事がおっしゃっていたように、いじめについて考える日を設けたり、今年度いじめに対する調査が年に2回から3回にふえたためか、いじめというものをやってはいけないものだとより理解できたのではと感じました。日常生活の中で忘れられていってしまうものが、やはり考える機会を増やすことで防止になっているのかなと思います。いじめについて考える日や年末にあったいじめをなくそう子ども会議などで、子供自身からも啓発して行って、いじめ撲滅に向けて今後も取り組んでいただければと思います。

不登校については、中学校のほうが人数が多いと思います。以前にさまざまな要因が絡まって不登校という状態になっている生徒が多いと伺いましたが、それが理由なのかなと思いました。各学校に行っても本当に先生方一人一人きめ細かい対応をしていただいているようですので、引き続きスクールカウンセラーの方など、いろいろなところと連携しながら対応して行っていただきたいと思います。

以上です。

委員長（山城清邦君）

やはりこの数値を見て、スクールカウンセラーの対応力は当然数値として現れておりますが、スクールカウンセラーが全校配置になったことで、実際の学校現場での正直な感想というのはなにかあるのでしょうか。

加藤指導主事。

指導主事（加藤治紀君）

やはりスクールカウンセラーに入ってもらうことで、子供たちの心のケアだとか、そういった面についてはかなり効果があるという話は聞いてございます。ただ一方で、スクールカウンセラー各校1名の配置なので、それぞれ学校規模が違いますので、生徒数が多い学校ですと、対応の時間が足りないとか、週に1回の勤務ですので、タイミングが合わないとなかなか相談しづらいというような状況もあるといった話も聞いているところでございます。

以上です。

委員長（山城清邦君）

文科省あるいは東京都のほうで、今お話にあったように学校規模別など、実態に応じた日数や人員の増加などは検討されていないのでしょうか。

新村指導担当部長。

指導担当部長（新村紀昭君）

小学校全校配置が今年度からになります。予算の問題がありますので、日数を増やすことは難しいのかなと思います。ただ東京都のほうでは小学校5年生、中学校1年生の際に不登校になったり、いじめが急にふえたりする場合がありますので、そういった学年全児童生徒に個別の面談を1回実施することを今推奨しております。大規模校については今加藤主事が申したように間に合いませんので、その場合には都から派遣することも検討していく

ようです。26年度に向けて東京都のほうで最終的な調整に入っているところかと思っております。日常的に入ることはないんですが、部分的に入るということは検討されております。

委員長（山城清邦君）

ありがとうございました。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

スクールカウンセラー、小学校に配置されて、一定の効果が見られています。一方、不登校の児童生徒については、いよいよ小中一貫始まりますので、小学校6年生から中学校へ追跡調査まではいかなくとも、情報として私は参考にできるのではないかと思うんです。小中一貫進める中で、材料としては非常に大事な視点だろうと思いますので、ご検討のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

委員長（山城清邦君）

よろしいですか。

《なし》

委員長（山城清邦君）

質問がないようですので、報告として承りました。

それでは、今後の日程等について事務局のほうからご案内いただければと思ひます。

小林教育総務課長。

教育総務課長（小林賢司君）

それでは、今後の日程等につきましてご案内をさせていただきます。

3月1日土曜日、増戸小学校の創立140周年記念式典が開催をされます。午前10時開式となりますので、よろしくお願ひいたします。

3月20日木曜日は中学校の卒業式、3月24日は小学校の卒業式となります。詳細につきましては後日ご案内をさせていただきます。

最後に、次回3月定例会でございますが、3月25日火曜日午後2時から505会議室で開催をいたします。

以上でございます。

委員長（山城清邦君）

それでは、以上をもちましてあきる野市教育委員会2月定例会を終了いたします。

どうもありがとうございました。

閉会宣言 午後4時45分